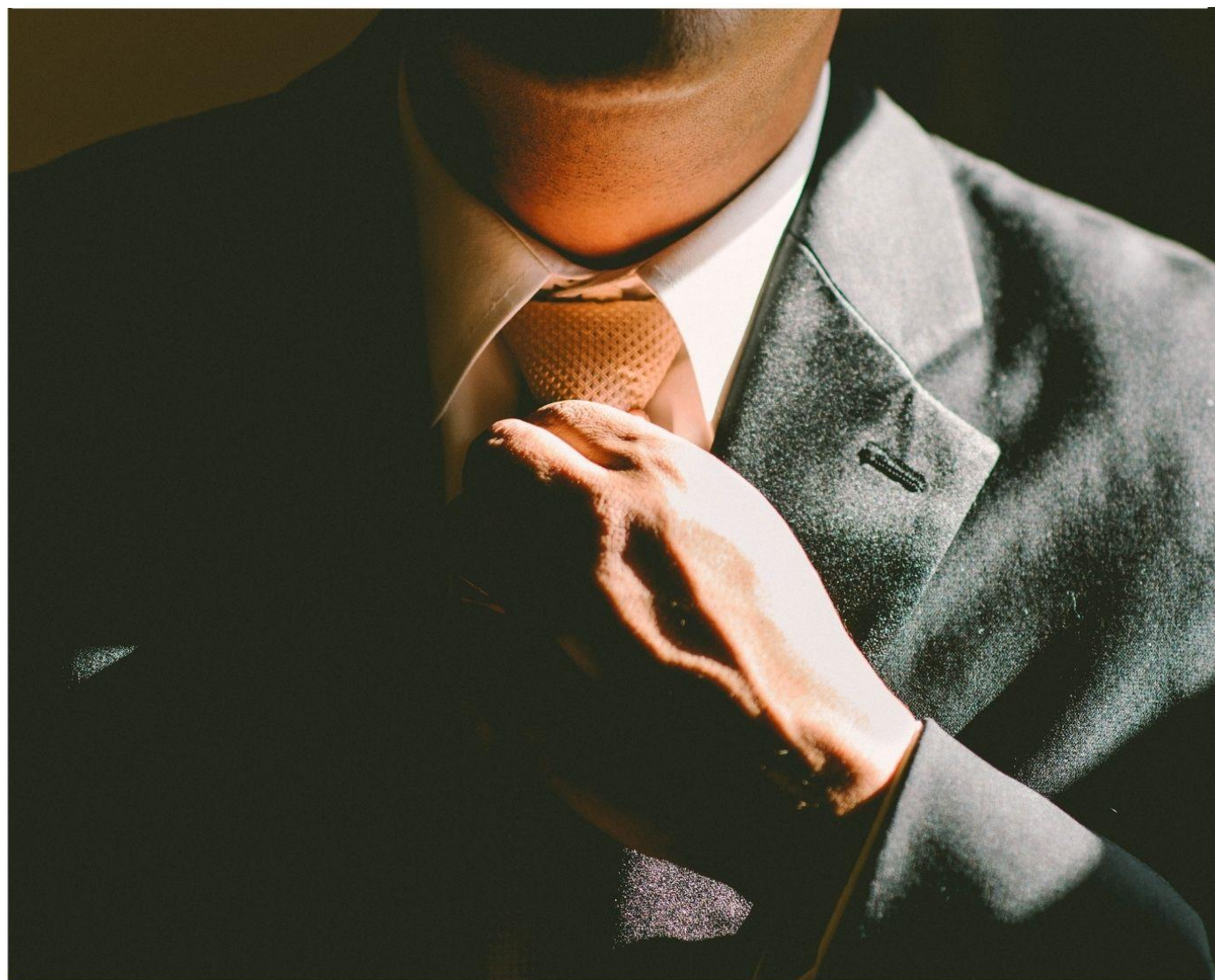


大人の装いの整え方を知りたい方へ

これだけ押さえる スーツの基本ルール BOOK



オーダースーツを注文する前に
まず最初に知るべき！！

はじめに

今までに何着かスーツを購入してきたけれど、

「スーツって決まり事が沢山あるみたいで、よくわからない」

と不安を抱えながらスーツを着ていませんか。

そんな方でも、基本のポイントだけ押さえれば大切な場面において、きれいにスーツを着こなせるようになります。

そのルールをこのBOOKを通してお伝えしていきます。

Chapter1：ジャケット編

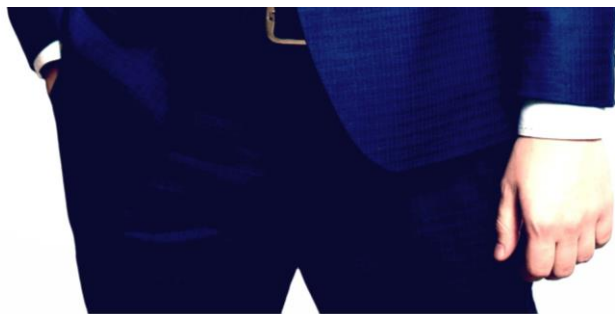
着丈

ジャケットの裾はヒップを隠すのが基本。若者のファッションには短丈のデザインもあるが大人には適さないなので注意が必要。



袖丈

シャツ袖が**1～1.5 c m**程度見えるのが理想。オーダーシャツを着てジャケットの袖丈を決めるのがベスト。



1～1.5 c m

Chapter1：ジャケット編

肩幅が合っているか

肩に対してジャケットの肩幅は適正か？



首裏

ツキジワが出ていないか。「ツキジワ」とは、うなじの下にできるしわ。肩幅や背幅が合わないと月の形の様にでる。



Chapter1：ジャケット編

ウエスト

第1ボタンを閉めた時に不自然なしわがなくしっかり落ち感があるか。

また、2つボタン、3つボタンの場合は、1番下のボタンは外すのがマナーです。



Chapter2：パンツ編

ウエスト

ウエストに手のひらが平らに入るくらいが丁度良い。きつすぎるとしわが寄って座ると苦しくなるので注意。

サイドポケット

サイドポケットが開いていないか。腰骨の下やヒップがきついと起こる。



ポケットが
開いていないか

Chapter2：パンツ編

パンツ丈

靴の甲に裾が触れるくらいの丈が理想。
スーツに合わせる靴を履いて丈を決定。



Chapter3：シャツ

シャツ

シャツのネックサイズは、ボタンを留めて指1本が無理なく入る程度が目安。



シャツの襟

シャツは、レギュラー・ワイドカラーがビジネスシーンでは基本となります。

人気のボタndaウンシャツは、カジュアルな印象があるので、冠婚葬祭はもちろん、ビジネスシーンでも場所や会う人によっては控えるのがベターです。

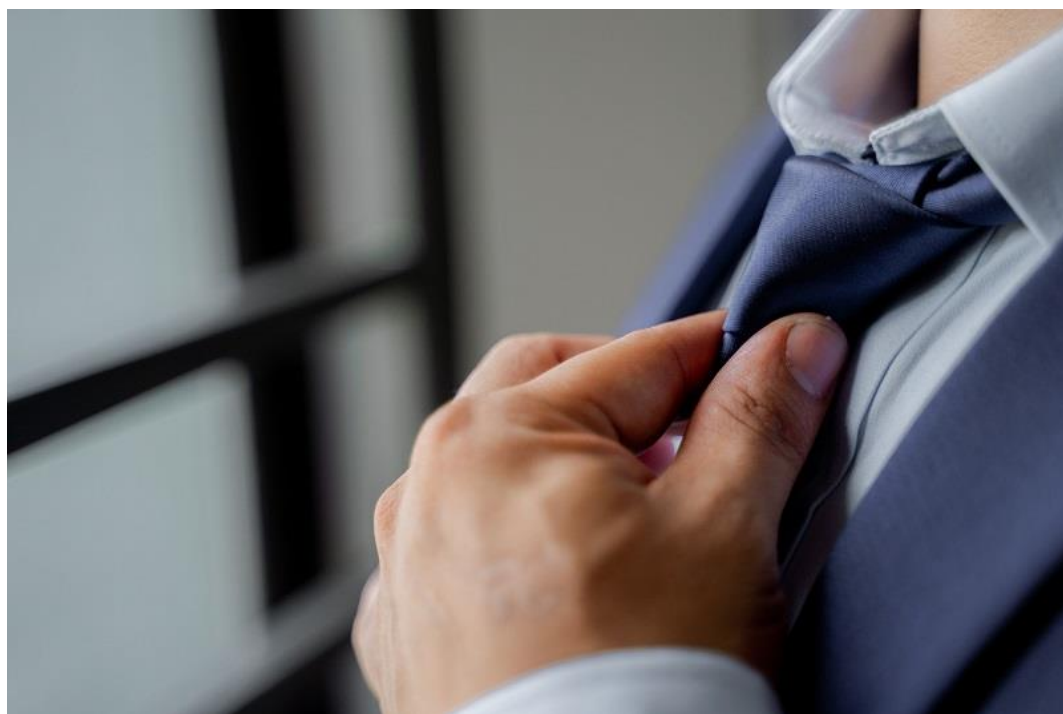
あくまでビジネスカジュアルなアイテムと捉えておくとい良いでしょう。

© 2020 ENSUITS

Chapter4：ネクタイ

ネクタイ

シャツの台襟が隠れるまでタイを締め、大剣がベルト中央になるように長さを調節する。



Chapter5：小物編

靴・ベルト

靴とベルトの色を統一する。当たり前のことだが意外に忘れがちなので注意。



最近は、スーツにスニーカーも場所によりOKだが、その際はカジュアルすぎない白や黒のシンプルデザインで大人の品格を保ちましょう。



チェックリスト

以下のチェックリストに該当する場合は、スーツの見直しが必要です。

☐

最後に購入したスーツは、3年以上前だ。

☐

ワンシーズンで週に同じスーツを2回以上着ている。購入は2年以上前である。

☐

1年前に比べ体重が3キロ以上太った、または痩せた。

☐

今着ているスーツのシルエットが、なんとなく似合わないと感じる。

☐

パンツのポケット口が擦り切れている。

☐

パンツの裾が擦り切れている。

最後に

今回は、スーツの着こなしの基本の押さえるべき箇所のみをお伝えさせて頂きました。

細かいルールは、国や個人によっても異なります。

ただ、上記の内容を知っておけば、最低限恥ずかしくないスーツの着こなしができます。

また、チェックリストを使用して、お持ちのスーツの確認をしてみてください。

サイズが、大きい・小さいなど問題が出てくると思っています。

また、ポケット口・パンツの裾がすり減っていないかなど、スーツ自体の寿命も確認してください。

サイズは、大きな誤差でなければ「お直しする」という方法もございます。

全体的に、シルエットが大きく身体に合っていない・痛みが激しい場合は、残念ですが、処分して新たなスーツを揃えることを勧めします。

スーツを大切に着ていただくために、縁スーツでは、今お持ちのスーツについてのご相談も承っています。

お気軽にご相談ください。

ご相談はこちらから

スーツの着こなしやオーダースーツについて分かりにくいと思われる方は、是非ご相談ください。

相談したからと言って購入する必要はありません。

まずは、お気軽にお声がけください！

↓↓↓

とりあえず相談してみる